

教育 子午線

Kyoiku-Shigosen



◎教育最前線
現状と課題から見る
道徳教育の重要性

◎研究レポート
教員としての実践的資質能力の
有機的統合と形成を促す
「教職実践演習」の実施と評価

◎ワタシのイチオシ

◎特報
新時代の教員養成を見据え
「神戸ハーバーランドキャンパス」がオープン



道徳教育の役割

学校における道徳教育は、児童生徒が人間としての在り方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を育成しようとするものです（改正教育基本法より）。

この道徳教育の目標は、学習指導要領「道徳編」第1章総則の第1の2に示すところにより、「学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこと」と示されています。また、道徳の時間については「以上の道徳教育の目標に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導」

によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育成するものとされています。

道徳の時間で何を学ぶのか

前述したような道徳教育の充実には、学校教育全体を通してよりよき人格の完成を目指して行わなければなりません。その要の時間として「道徳の時間」があります。

では、道徳の時間とはどのような時間なのでしょうか。「説教の時間？」「懺悔の時間？」「分かりきった建前を言い合う時間？」でしょうか。当然のことながら全部違います。一言で言うと「豊かな心を育むための時間」です。そして「道徳的価値の大切さを学ぶ時間」なのです。早急に道徳的行為や道徳的習慣を目指す時間ではありません。

教育最前線

現状と課題から見る 道徳教育の重要性

価値観の多様化や人間関係の希薄化に伴い、家庭や地域の教育力、子どもたちの規範意識や自尊感情などに課題が生じています。いじめや不登校、そして体罰の問題も喫緊の課題として各所で議論されています。さまざまな課題の解決に向け、今、道徳教育の充実が求められています。



よど さわ かつ じ
淀澤勝治

生徒指導実践開発コース准教授

人は自らの誠実な生き方に充実感を覚えます。他者からの思いやり心が温かくなります。自然の崇高さに心奪われます。社会で生きていく上での規範の大切さを考えます。このように道徳の時間には「ひと・もの・こと」の中にあるさまざまな道徳的価値について、仲間と共に深く学び合つのです。

道徳の時間の在り方とは

保護者の中には「道徳の時間なんて必要ない」「道徳を勉強しても役に立たないし、効果なんて期待できない」と考える人もいるのではないだろうか。これは保護者のみならず、教員にも言えそうです。だから、時間割に道徳の時間が入っているのに、実際には実施されていない学校も散見するのです。そのような実態を踏まえて今、「道徳の教科化」が議論されています。

さて、ここで言う「効果のない道徳」とは何を指すのでしょうか。おそらく価値の押し付けの授業であったり、教員の用意した答えに導くだけの形式的な道徳であったりするのでな

いでしょうか。つまり、子どもたちにとって「楽しい授業」「充実感のある授業」「学ぶことによつて自浄効果を生むような授業」になっていないのです。

では、いったいどのような授業が求められているのでしょうか。授業参観に行つて「なるほど！子どもたちの言うことももつともだ」と感心したり、「うん」と大人でも考え込んだりするような授業ではないでしょうか。そのためのチェックポイントを下図に示しています。

兵庫教育大学の取り組み

兵庫教育大学教職大学院（専門職学位課程）では、共通基礎科目に「学校における心の教育の実践研究」を設定し、専門科目（必須科目）として「道徳教育の諸理論と道徳授業づくり」「道徳授業の教材及び指導過程の実践開発」を開講しています。現職教員の大学院生やこれから教員を目指すストレートマスターらは、道徳教育に関わる課題研究に取り組み、十分な成果を挙げています。

楽しい授業、学びがいのある授業のポイント

- ▶ ねらい（道徳的価値）を明確にすること
- ▶ 発達の段階や学年段階に対応していること
- ▶ 教材文の構成、いわゆる“起承転結”等を十分理解していること
- ▶ 道徳の資料と国語の違いに留意すること
- ▶ 主人公の心が変容した場面を中心に考えさせること
- ▶ 副詞、副詞句に注目した発問を考えること

その段階で、一見分かっているようで、実は分かっていることを学べるように…

国語…言語に対する全てのことを学ぶ。
道徳…一番大事なことは書かれていない。そのことを共に考えることができる発問づくりを。

「その時、主人公は心の中で何と語り掛けているでしょう」
「どんなことを考えているでしょう」
「～に何をみたのでしょうか（気付いたのでしょうか）」

副詞、副詞句を尋ねることにより、多様な子どもの意見が期待できます。多くの場合、中心発問にふさわしい副詞、副詞句は最後から数行前に！「～の気持ちはどうか」と心情を問うことを繰り返し過ぎると、授業が平板になりませんか。基本発問が多くなり過ぎると、教員が授業を引っ張ってしまうことになりませんか。

今どきの 道徳授業とは

学習指導要領が改訂されるたび、道徳の授業方法も変わってきました。「みかんの木のてら」という教材を使った授業でも、一昔前と現在では、児童への発問の内容が大きく変わったのが分かります。※発問例は淀澤の私案です

みかんの木のてら

作・岡本良雄 絵・西村達馬

五月のおわりごろのことです。
いちろうたちが、学校のかえりにおてらのまえをとおりかかると、いいにおいがします。見ると、おてらのものの中のみかんの木に、白い花がいっぱい咲いていました。「この花が、みかんのみになるんだよ。」と、さんじがいいました。(いいなあ。みがなつたらとって、たべてやろう。)、みんなはおもいました。

あきになりました。みかんの木には、青いみかんのみがなつて、すこしずつ大きくなつていきます。ある日、いちろうたちは、みかんの木の下にあつまりました。いちろうが、そつと手をのぼすと、「こつっ。」と大きなこえがして、本どつつのしやうじがガラツとあきました。みんなは、ばらばらとにげました。

つぎの日も、みんながみかんの木の下にあつまると、木のえだに、こつかいたふだが、さがつていました。「みかんをとるな。まだ、すっぱいぞ。」みんなは、こそそこそとかえりました。また、つぎの日いくと、こんどは、「あと四、五日だ。まだとるな。」と、かいてありました。「あと一日、あすまでおまち。」こんなふだがかけられたつぎの日、おてらの中にはいつていつたいちろうたちは、「あつ。」と、こえをたてました。みかんが、一つもないのです。「おしやうさんにだまされた。」

しかたなくかえりかけたとき、まさおときよしが、かごをみつめました。「あつ、みかん。」大きな金いろのみかんがたくさんはいつていました。その上には、こつかいたかみが「まいおいでりました。」
「おいしくなつたよ。みんなでおあがり。ぬすんでたべたら、すっぱいすっぱい。みかんの木のてらのおしやう。」

学習研究社「みんなのどうとく2年」(平成元(1989)年より)

● 児童(小学2年生)の反応

授業者のねらいと
実際の効果

物語への導入(この時間に考えていく教材への導入はするが、価値の押し付けはしない)
※なるべく短めに

● 児童はヒントをもらいながら楽しく授業に入り込む

現在

主な発問と
予想される児童の反応

「この花を見たことがありませんか?何の花だと思おう?」「みかんの花の画像あるいは黒板をパネルシアターのように活用してヒントも出す」

● 口々にいろいろな果物の名前を言う
● 何だろ?と不思議そうにする
● 当てる喜んでたり食べたそうにしたりする

一昔前

授業者のねらいと
実際の効果

価値への導入(この時間に考えていく価値についての課題意識を掘り下げる)

● 児童は先生の期待する答えを探すが、今までの自分を振り返って反省を促される

主な発問と
予想される児童の反応

「うそやごまかしをしてしまったことはありますか?そのときはどんな気持ちがありましたか?」
● ばれないかどうかどきどきする
● (何も言えない、言わない)

「この話を聞いてどう思いましたか?」
● 黙って取るうとしたらだめだ
● 和尚さんは優しいなあ

取 り 組 み

「自分を大切に、他を思いやる心を育てる道徳の時間」を目指して毎年2回、道徳研修会を開いています。読み物資料で、主人公が道徳的に変化した場面はどこか、そのきっかけとなった出来事(助言者)は何かを捉え、中心発問を設定します。そして、中心発問で予想される生徒の反応をできる限り考え、中心発問につながる基本発問を整理していきます。一人では頭を抱えてしまうことも、複数で話すことが大きな刺激になり、教員自身が資料を読むことを楽しいと思えるようになってきました。

道徳の時間では、教員の予想した答えに誘導するようなことはせず、待つ時間を大切に、生徒のつぶやきを引き出せるようにしています。Teacherではなく、Catcherに。「道徳の時間は自由に考えを言っていんだ」と自分の言葉で述べ、他者の意見からさらに考えを深められるようになり、誰もが一人一人の級友を大切にしようとする学級になることを実感しています。

年度末に行っている「道徳・人権アンケート」の「あなたは道徳の時間が好きですか」という問いに、ある生徒は、1年目「どちらでもない」理由として「話を読んでも、『悪口を言わないでおこう』と思ったり実行できたりする人は限りなくゼロに近い。自分もそうだ」と書いていました。何事においても誠実に取り組む生徒です。翌年、この生徒の担任になりました。1年を終え、彼は同じ問いに「好き」と答えました。「道徳の時間は、人の気持ちを考え、友達の考えを聞けるとても大切な時間だ」と。

いい資料、教員のやる気は生徒に通じると信じ、これからも道徳教育の充実を図っていきたいと思います。

Teacherではなく Catcher 生徒のつぶやきを 引き出すことが大切

よし だ かず え
吉田一恵さん
大学院専門職学位課程
生徒指導実践開発コース1年
(姫路市立書写中学校教諭)



一郎たちの気持ちに寄り添いながら読み進めていく。そして、自分たちのいけなかつたことに気づいたところが授業の山場になるように発問構成を考えていく。ただし、主人公たちのしていることに共感させながら「そんな気持ちでよく分かるなあ」となりきらせながら進めていく



余韻のある終末を心掛ける（無理に現実世界には返さず、物語の世界に浸らせる。そうして心を耕していく）

「みかんの白い花がたくさん咲いているのを見て、一郎たちはどんな気持ちになっているでしょう？」

「一郎が手を伸ばしたとき、どんなことを考えたでしょう？」

● やつと大きくなった
● 見つかったら大変だ
● おいしそうだな
● 黙って取るのはよくないかな

「みかんが一つもないのを見て、一郎たちはどんな気持ちになったでしょう？」

● せつかく札の通りに待っていたのに：
●和尚さんにだまされた
●昨日のうちに取っておくんだ

「一郎たちは和尚さんの手紙を読んでどんなことを考えたでしょう？」

●和尚さんは優しいなあ
●黙って取ろうとしてごめんなさい
●謝りに行こう

「この後、一郎たちはどうしたと思いますか？」

●きつと謝りに行った
●和尚さんと一緒に縁側で夕日を見ながらみかんをおいしそうに食べた

「『すっぱい』の意味を考えましょう」

一郎たちの気持ちに寄り添いながら読み進めていく。そして、自分たちのいけなかつたことに気づいたところが授業の山場になるように発問構成を考えていく

◎優れた教員ならば子どもたちをうまく導いていくのが、そうでない場合は、先の見えたつまらない授業になる可能性も高い



ありきたりの最後になり、ややもすると教員の説話が価値の押し付けになりがちになる

「みかんを取ろうとして、和尚さんにしかられたとき、一郎たちはどんなことを考えたでしょう？」

●もうやめよう
●けちだな
●逃げられてよかった
●和尚さんに見つからないようにこっそり来よう

●まだ何日も待たなければいけないのか
●本当かな？
●きつとくれるんだ

「みかんが一つもないのを見て、一郎たちはどう思ったでしょう？」

●早く取ってしまったよかったです
●和尚さんにだまされた
●ずるいなあ

「一郎たちは和尚さんの手紙を読んでどう思ったでしょう？」

●和尚さんは優しいなあ
●黙って取ろうとしてごめんなさい
●謝りに行こう

「今までうそやごまかしをしようとしたが、しなくてよかったと思ったことはありますか？」

●何人かが発表する

教員が説話して、これからの生活指導に結び付ける

学 校 現 場 の



これまで附属小学校では、道徳的心情を育てるために読み物資料を使って人物の心情や行為について考えることや、道徳的判断力を高めるために価値葛藤場面のある教材でどのように判断するかモラルジレンマ授業を行ってきました。また、道徳的実践意欲と態度を培うために他教科や特別活動などと関連を図った単元化に取り組んできました。

ねらいとする道徳的価値の自覚を深めるためには、資料を読み合い、話し合う場面において発問を工夫し、子どもの多様な考えを引き出すようにすることが大切です。中心場面では、ワークシートを活用して自分の考えを持ち、そこから交流を行い、自分とは違った友達の意見や気付かなかった考え方にふれることで、道徳的なものの方見方・考え方を広げたり深めたりすることを重視しています。

昨年度は評価活動に取り組みました。道徳の授業で培った道徳的実践力が日常的道徳的実践へと結び付いていかなければなりません。道徳の評価については難しさのあるところですが、子どもの自己評価を中心に、友達からの視点（相互評価）も含めて自分を見つめさせるようにしてきました。生活を振り返る観点を示し、日常生活における道徳的行為の現れを意味付けや価値付けを行い、学級全体に広げるようにしてきました。

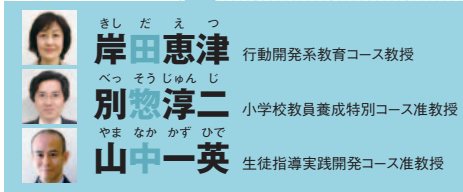
道徳は即効性を求めず、子どもの成長を緩やかに見守るスタンスが必要であると感じています。

友達の意見に ふれることで 道徳的なものの 考え方が広がる



ただ まさ よし たか
忠政善貴さん

兵庫教育大学附属小学校教諭



●「理論と実践の融合」に関する共同研究活動とは、兵庫教育大学のミッションの一つである「教育実践学の推進」をより一層図り、その成果を国内外に発信し、学校現場や教育委員会のニーズに応えるため、平成23(2011)年度から「理論と実践の融合」に関する学際的な共同研究を教員から公募し展開しています。

教員としての実践的資質能力の有機的統合と形成を促す「教職実践演習」の実施と評価

(平成23・24年度「理論と実践の融合」に関する共同研究活動に採択)

教

育職員免許法施行規則の改正により、平成22(2010)年度入学生から教職実践演習が必修になりました。

20(2008)年度入学生から教職実践演習を新設、必修化し、他大学に先行して実施しています。先行実施にあたっては、文部科学省から提示された確認事項を踏まえて、授業の内容・方法等について協議を重ね、最終的に「事例研究」「模擬授業」「まとめ(学びの総括)」で授業を

構成しています。しかし、この軌跡の集大成」として位置づけられています。しかし、この

科目の内容や方法は明確ではなく、実施にあたって各大学は模索しています。兵庫教育大学では20(2008)年度入学生から教職実践演習を新設、必修化し、他大学に先行して実施しています。先行実施にあたっては、文部科学省から提示された確認事項を踏まえて、授業の内容・方法等について協議を重ね、最終的に「事例研究」「模擬授業」「まとめ(学びの総括)」で授業を

教職実践演習で確認する5領域の事項と授業構成

- ① 学び続ける教師
- ② 教師としての基本的素養
- ③ 子ども理解に基づく学級経営・生徒指導
- ④ 教科等の指導(保育の展開と指導)
- ⑤ 連携・協働

※確認する5領域は、本学の教員養成標準に示された資質能力を適用している

授業構成	授業内容	確認領域事項
事例研究	学校や学級に遍在する出来事や学生自身が実習等で経験した事例について、グループで問題点や対応策を討論する。	①②③⑤
模擬授業	学習指導案を作成して模擬授業を行い、意見交換・討論を行う。学生の所属コース以外の教科、すなわち専門ではない教科について模擬授業を実施する。	①②④
まとめ [学びの総括]	履修カルテの記述内容と事例研究、模擬授業で得た成果を基に、4年間で学生が身に付けた資質能力と教職に従事するにあたっての自己課題についてグループ討論等により振り返り、明らかにする。	①②③④⑤

23(2011)年度と24(2012)年度に実施した教職実践演習の「事例研究」「模擬授業」「まとめ」に関して、学生にどのような学びや教育効果があつたのか、また、授業担当者はこの授業の成果と課題をどのように認識したのかを明らかにするために調査研究に取り組みました。

調査の結果、「事例研究」では、本授業科目のねらいである「グループでの話し合いによって自己課題を明確にすることができた」「事例研究によって4年間の学びを総合することができた」に対する学生の評価は、おおむね高いことが分かりました。「模擬授業」では学生の所属コース以外の教科、すなわち専門ではない教科について取り組みました。結果、その教科に対する知識や理解が深まり、教科指導や授業づくりに関する自らの課題を明確にすることができました。「まとめ」では履修カルテに基づくグループ討議を行い、多くの学生は「大学4年間で身に付けた資質能力と

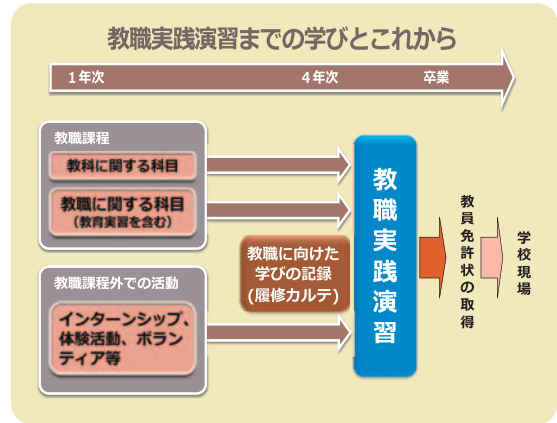
教職に就くにあつたときの自己課題を明確にできた」と捉えていました。このように教員として必要な資質能力が形成されていることが確認できました。また、不足している知識や技能を補い、教職生活を円滑にスタートするための支援ができたという成果が得られた一方、改善すべき課題もありました。

本学での教職実践演習は計画、実施、評価、改善のサイクルを繰り返しながら、教員としての実践的資質能力の有機的統合と形成の実現に先導的に取り組んでおり、他大学に示唆を与えるものです。

「理論と実践の融合」に関する共同研究課題(平成24年度末終了分)

研究代表者	研究課題名
名須川知子教授	幼保一体化施策に関わる実証的研究と教員研修モデルの構築
富永良喜教授	大災害後の子ども心理的支援における心理アセスメントと個別相談に関する研究
河相善雄教授	地域と連携したインクルーシブ教育モデル構築に関する実証的研究
菅井三実准教授	認知科学的手法に基づく文章作成力向上のためのプログラム開発
岸田恵津教授	教員としての実践的資質能力の有機的統合と形成を促す「教職実践演習」の実施と評価
黒岩智教授	単元間を縦断的に関連づける指導法の効果と有効範囲に関する教授学習心理学的研究
松本剛教授	中学校の諸活動におけるキャリア発達を促す教育活動の効果に関する研究—キャリア教育モデルプランの提示を基に—
米田豊教授	部落史研究の成果を組み込んだ社会科歴史授業の開発—小・中学校の歴史教科書の分析と授業開発を中心として—
古川雅文教授 (中国大3郎特任教授)	小学生の勤労観・職業観を育む教育プログラムの開発及びその有効性の継続的・実証的研究—係活動の指導を通して—

それぞれの研究成果についてはホームページで公表予定



カバンにはいつもiPad

特別支援教育に役立つアプリが増えてきたという。知人が開発した「子ども静かにタイマー」は、話し声の大きさが設定値を超えると犬が目覚めて吠え出すというもの。「声の大きさを感覚的に理解するのが難しい子どもに、『静かに話すというのはこれぐらいの声の大きさなんだよ』と、音量を視覚的に示すことで理解を促し、かつ、楽しみながら学習することができます」



スーツの方が楽だけど…

今年34歳と教員陣の中でも若く、普段はカジュアルな服装が多いという。「ディスカッションなどではできるだけ学生と同じ目線でやりたいので、自然とカジュアルな格好が多くなりました。本当はスーツの方が楽ですけどね」

Shake!Shake!

大の酒好き。来客があれば学生時代から愛用のシェーカーを振ってカクテルを作るとか。パッシモやマリブなど、カクテルのベースとなる酒を最高で40本ほどそろえていた時期もあったが、最近は育児に時間を取られて買い足せないそうだ。



海外出張の土産

5年ほど前から海外出張の際、スターバックスの各国限定のタンブラーやマグカップを買うようになった。「夏にベトナムで集中講義をするので、ホーチミンにオープンした店に行こうと思います」



次はどこを走ろうかな

子どものころから国道が好きで、道路地図を見ながらどんな風景が広がっているのかと思いを巡らせていたという。運転免許を取得してからは全国の国道を次々と走破していき、近畿は全てクリアした。「目当ての国道へ行くのに、最寄りのインターまで高速を使うのは邪道。自宅からひたすら地道を走り続けます」。「国道道」とはなかなか厳しいもののようだ。



おがわ ひさし

小川修史 講師

行動開発系教育コース

京都府出身。平成15(2003)年、和歌山大学システム工学部から同大学院博士前期課程に進む。20(2008)年、博士後期課程を修了し、兵庫教育大学大学院兼情報処理センターの助教に就く。25(2013)年から現職。教育学の観点から特別支援教育のアプローチを試みており、教員向けソフトウェアの開発などに取り組んでいる。授業は「情報処理基礎演習1・2」(学部)、「教育情報工学特論」(修士課程)などを担当。

先生に質問!

Q 特別支援教育の現場向けにどのようなソフトウェアを開発しましたか。

A 特別支援学校には、自分の気持ちを手言葉で表現できない子どもが多くいます。そのため、教員は子どもの気持ちを推測するのですが、時にはうまくできないときもあります。そこで、複数の教員が授業のビデオを見て、子どもの気持ちを推測し、それを画面上の吹き出しに表示するアプリの開発・研究を進めています。

Q 今後、どのような研究を進めていきたいですか。

A 障害のある子どもたちは「伝えたい」という意思を強く持っていますが、彼らにとって伝えることは非常に高い壁です。パソコンやタブレット端末の力を借りて、その壁を越えられる方法を考えていきたいです。自分の思いが伝わったときの彼らの得意げな顔を見ると、研究を続けてきて良かったと思いますね。

Q 学生たちにメッセージを

A いろいろな場所へ出掛け、たくさんの人に会い、見聞を広めてほしいですね。人との出会いは自分を成長させてくれる宝。ぜひ、一歩を踏み出しましょう!



まつざき ゆうこ
松崎優子さん
淡路市立石屋小学校教諭

神戸市出身。県立星陵高校から平成20(2008)年に学校教育学部総合学習系コースに入学。24(2012)年に卒業し、現任校に着任。今年度は2年生を担当している。



→教員の面白さを感じるのには、一人一人違う子どもたちの考えが一つにつながる時。その手助けを上手にするのが課題です

大学時代に経験したことは 教員になって必ず役立ちます

小 学校教員になって2年目。つくづく感じるの「子どもは素直さの塊である」ということです。例えば、自身が授業を楽しんでやっている、子どもたちも楽しそうに食いついてきます。逆に、納得いかない授業には子どもたちも乗ってきません。勉強以外でも同じことがいえます。私はソフトボールが好きだと言うと、「ソフトボールってどうやってやるの?」「先生、昨日の阪神戦観た!」などとキラキラした目で話してくれます。「これはしてはいけ

ない」と教える時も、自分の体験談を話すと、彼らは真剣な目で聞いてくれます。兵教生の皆さん、在学中に経験したことは将来、必ず自分に返ってきます。私は海外でボランティア活動をしたり、コースの仲間と夜遅くまで勉強したり、鍋を囲んで笑い転げたりと、いろいろなことをしました。そんな経験が現在のパワーになっています。大学時代に自分がわくわくする経験をたくさん積んで、子どもたちにその素晴らしさを伝えてあげましょう。



はいの よしき
拝野佳生さん
伊丹市立有岡小学校教諭

西宮市出身。大阪教育大学卒業。伊丹市立伊丹養護学校(現伊丹特別支援学校)に勤務していた平成9(1997)年、大学院修士課程生徒指導コースに入学。今年度は現任校に異動し、2年生を担当。



→車椅子の児童と一緒に長縄跳びにチャレンジ

大学院の学びを生かして 念願の臨床心理士に

教 職に就いて以来、不登校やいじめなど、生徒指導上の諸課題と向き合う中で「心理的側面」の大切さを日々痛感していました。臨床心理学を本格的に学びたいと思い、生徒指導コースに入学しました。在学中は学外でのスーパーヴァイズ、学内でのケースカンファレンスなどを通して、多くのことを学びました。心理臨床セミナーや各種学会等での発表も、心理臨床の基礎を学ぶ絶好の機会となりました。修了後、勤めていた養護学校

に相談室を開設しました。教育相談に応じる一方、校内ではプレーセラピー的な「あそび」の授業を試行錯誤していました。それらの臨床経験に基づき、念願だった臨床心理士の資格を取得できました。現任校では臨床心理士の研修などで得た学びを取り入れながら、子どもや親、同僚たちとの「つながり」を大切にしています。現在の教育実践に大学院時代の経験が生かされていることを思うと、先生方や同窓生たちへの感謝の思いでいっぱいです。

▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

第33回大学院同窓会・九州大会の開催

大学院同窓会は各都道府県支部の持ち回りとしており、今年は福岡県で開催します。詳細については「Hyokyo-net」をご覧ください。

- ◎開催日 8月3日④・4日⑥
- ◎会場 福岡リーセントホテル(福岡市東区)
- ◎内容 修了生の教育実践研究活動等に係る表彰、教育実践発表講演「学び続ける教員像」/加治佐哲也学長 太宰府天満宮や九州国立博物館などの見学

おか もと ま さ お
岡本真砂夫さん

大学院修士課程
 文化表現系教育コース
 [言語系教育分野(英語)]2年

昭和46(1971)年、神戸市生まれ。平成7(1995)年に兵庫県公立小学校の教員となる。11(1999)年ごろから小学校の外国語活動の授業研究を始める。24(2012)年、大学院入学前に受けたTOEICスコアは970点。



↑ホームページ「たんぼのお家」で公開している教材や授業実践例はこれまでに数回、TOSSから表彰された

たんぼのお家

検索

「Wat is color?」「Red!」の音声とともに、モグラたたきゲームのように穴から次々に食べ物飛び出し、赤い物をクリックすると得点が入る。自身のホームページには小学校外国語活動に関する自作教材や授業実践のレポートが並ぶ。

「教材はパワーポイントやフラッシュで作っています。全国の先生方から『使っている』という声を聞くと励みになりますね」

外国語活動の授業について研究を始めたのは、先行モデル校で授業がスタートした平成11(1999)年ごろ。父親の転勤で4歳から約3年間にニューヨークで過ごした経験から、英語でコミュニケーションを取ることの楽しさを伝えたいと思った。

「私自身、アメリカ人の同級生との日常会話から英語を覚えたように、聞く・話すに主眼を置いた授業が英語に慣れ親しむ第一歩だと考えました」

先輩教員に誘われ、授業方法の開発に取り組み教員の団体、T.O.S.S.に入会。研究の発表を目的にホームページを立ち上げるとともに、定期的に授業

実践の勉強会に参加するようになった。

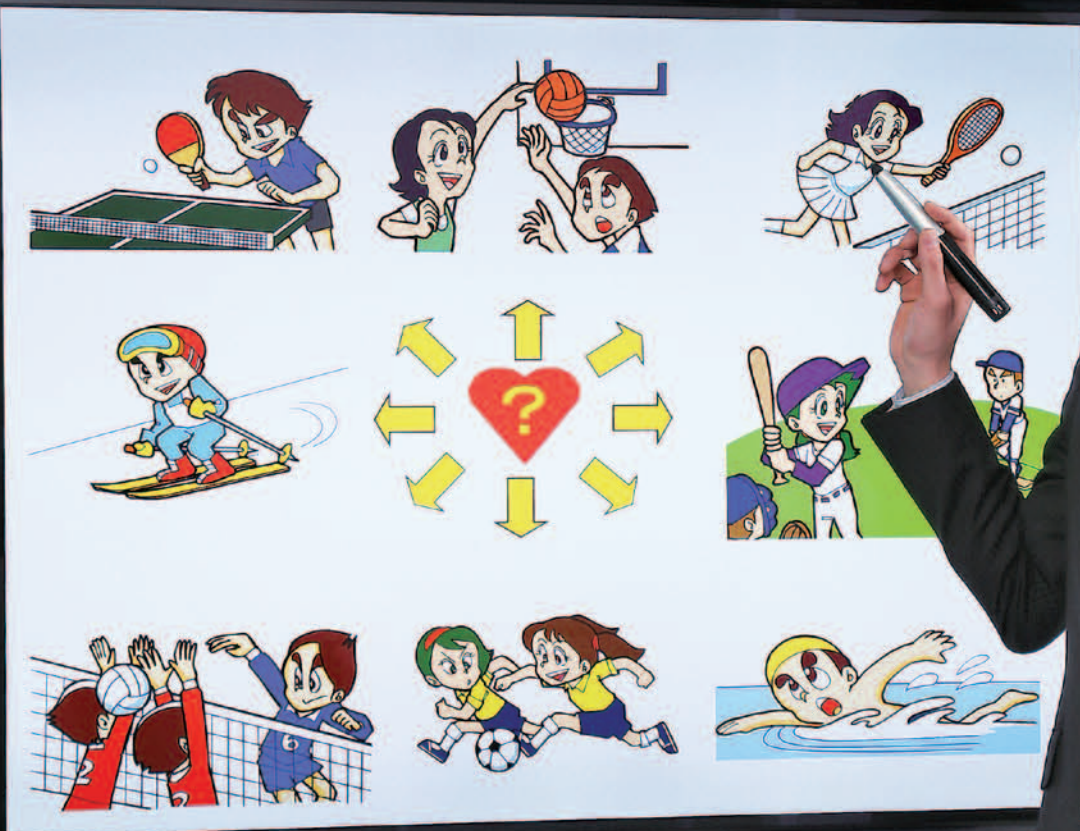
14(2002)年、勤務校にプロジェクトが導入された際には、「教材開発の可能性が大きく広がった」と振り返る。「授業では子ども同士で会話する時間を設けていて、その時にイラストを表示するとスムーズに言葉が出るという効果がありました。外国語活動にICT機器は欠かせない存在です」

質の高い授業を目指す一方、「子どもに教えるからには英語の基本を正しく身に付けなければ」と、22(2010)年に英検1級を取得。そして昨年、大学院への入学を果たした。

現任校の姫路市立城東小学校では週1回、研究授業に取り組んでいる。アメリカの言語学者、マイケル・トマセロが提唱する乳幼児の言語獲得の理論を応用し、英文の復唱やカードゲームなどを経て、児童の発音が滑らかなっていく過程について検証している。「大学院での学びは想像していた以上に奥が深いです。この経験は現場に戻ってから絶対に生きると思っています」

**教材開発や
 授業研究を重ね
 英語の楽しさを
 伝えたい**

**キラリな人
 SHINY PERSON**



～第11回(平成24年度)学生生活実態調査報告書から検証～

兵教生が持ち歩く通信端末

放課後の過ごし方とも関係しているのか？

キャンパス内で持ち歩いている通信端末について調査したところ、学部生はスマートフォン(69.2%)、大学院修士課程、専門職学位課程、博士課程はいずれもノートパソコン(55.0%、73.6%、72.2%)が多いことが分かった。この結果は、学部生はクラブやバイト、大学院生は主に研究と、授業後の過ごし方が関係していると推測できる。

また、学部生、大学院生とも携帯電話よりスマートフォン(99%)の所有率が高かったが、学部生は35.9ポイント差と圧倒的なものに対し、大学院生はそこまでの開きはない。平均年齢の若い学部生の方が新しいアイテムにスムーズに対応しやすいという表れなのかもしれない。

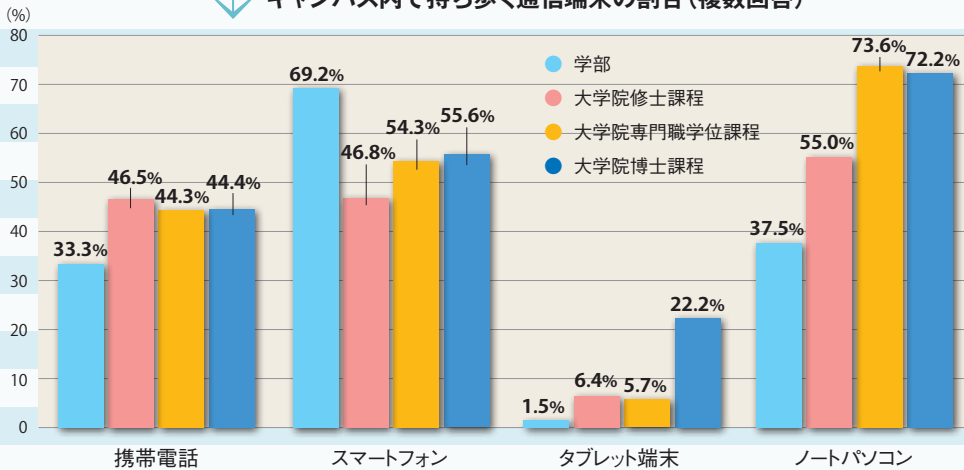
無線LANの整備によって今後のデータに変化も



こわだ よしゆき
小和田善之教授
認識形成系教育コース[自然系教育分野(理科)]

学部生はパソコンよりもスマートフォンの所有率が高く、インターネットへの接続もスマートフォンを使うことが多そうです。これは学生寄宿舎に無線LANによる接続環境がないことが一因かもしれません。一方、大学院生はパソコンの所有率が高く、研究などで日常的に利用している様子が見えます。今後、学内の無線LAN環境の整備が計画されているので、全体としてパソコン所有率が上がる可能性があります。いずれにしても、昨今はパソコン、スマートフォン共にウイルスの被害が見られますので、アンチウイルスソフトなどの使用をお勧めします。

キャンパス内で持ち歩く通信端末の割合(複数回答)



スマホにLINE
今どきのマスト

かど やまこと
角谷真さん
学校教育学部
自然系コース3年



ここ1、2年で学内のスマホ率はぐっと上がりました。スマホを持っているほとんどの人が、「LINE」という無料で通話やチャットができるアプリを使っています。LINEにはグループ内で手軽に連絡を取れる機能があり、部員同士の連絡網として使っているクラブもあります。今年度の新生たちはメールアドレスではなくLINEのIDを交換し合う姿が見られ、スマホとLINEの急速な普及を実感しました。

バッグの中には
ノートパソコン



たき あや
滝綾さん
大学院専門職学位課程
小学校教員養成特別コース3年

レポート作成や発表準備、就職活動など、パソコンはさまざまな用途に欠かせません。無線LANが整っている図書館や食堂、学生ホールでノートパソコンを開くこともよくあります。また、大学院のeラーニングやSNSも充実しており、研究に必要な情報がすぐに得られます。休講のお知らせなどは携帯にも配信されるなど、日々、学内のICTの利便性を感じています。

困難に立ち向かう 勇気をもらえる一曲です

あの日、アイツが日記に「先生。今が一番キツイけれど、ファンモンの『あとひとつ』を聴いて、入試に向かって頑張ります」と書いた気持ち分かるような気がします。

生 徒に薦められて好きになったアーティストが、FUNKY MONKEY BABYS。「あとひとつ」はお気に入りの曲で、「あと一粒の涙でひと言の勇気で、願いがかなうその時が来るって僕は信じてるから 君もあきらめないでいて」という歌詞が特に好きです。越えなければいけない課題に直面したとき、この曲を聴いて何度も勇気をもらってきました。



もり とし き
森敏之さん
大学院修士課程
認識形成系教育コース
[自然系教育分野(数学)]2年



FUNKY MONKEY BABYS
「あとひとつ」
発売元/ドリーミュージック

山口佳紀編
「なるほど語源辞典」
発行/講談社



デシュパнде・サンジワニさん(インド)
特別聴講生

その言葉が時代の流れとともにどう変化し、現在の形になったのかを奥深く説明しています。言語に興味がある方にお薦めの一冊です。

普段使っている言葉の
意外な由来が分かります

ワタシのイチオシ

心に残る映画、つい口ずさむ音楽、
行きつけのスポットや思い出の一冊。
みんなにも薦めたい私のお気に入りを紹介。

笑って泣いて 元気になれる青春活劇

「ジャズやるべー」のキャッチフレーズでおなじみの青春映画。落ちこぼれの女子高生たちが、夏休みの補習をサボるために食中毒で入院した吹奏楽部員のピンチヒッターに立候補。ジャズバンドとして活動するうち、やる気のなかった彼女たちは次第に音楽にのめり込んでいきます。しかし、部員が復帰し、お払い箱。それでも楽器を吹きたくて…。

いし づ ゆ かり
石津有加里さん
学校教育学部
言語系コース3年



「スウィングガールズ スタンダード・エディション」
DVD発売中 3,990円(税込)
発売元/フジテレビジョン、アルタミラビクチャーズ、電通
販売元/東宝

丸亀製麺小野店
小野市古川町溝向40-2 ☎0794・62・1180
7:30~21:00(L.O.20:30)
<http://www.toridoll.com/shop/marugame/>



まえ かわ まど か
前川円香さん
学校教育学部
芸術系コース3年

「ごん存じ、チエーン」の讃嘆うどん専門店。小野店は加東と小野の市境にあります。コシのあるおいしいうどんがリーズナブルな価格で味わえ、天ぷらやおにぎりなどのサイドメニューも豊富にそろっています。月曜から土曜はランチメニューもあります。以前は15時で閉店していましたが、営業時間が21時までになりました。少しお腹が空く夕方によく友達と食べに行きます。皆さんも、ぜひ行ってみてください。

安くておいしい!
学生に優しいうどん店

新時代の教員養成を見据え
「神戸ハーバーランドキャンパス」がオープン

今 年4月、大学院修士課程・専門職学位課程の夜間クラスを開講する「神戸サテライト」が拡張工事を経て、「神戸ハーバーランドキャンパス」としてリニューアルした。1245平方メートルから1575平方メートルに増床し、100人収容の「兵教ホール」や会議室を新設。院生合同研究室や図書室の設備も充実した。

オープン記念式典には加治佐哲也学長をはじめ、藤井比早之衆議院議員、文部科学省教員養成企画室の栢森麻代専門官らが出席。加治佐学長は「神戸ハーバーランドキャンパスは都市の利点を生かした大学としての新たな展開の契機となる。ここを拠点とした取り組みを通して、教育の発展に貢献していきたい」とあいさつした。

神戸サテライトは夜間クラスを設置した平成12(2000)年、神戸サンボホールにオープン。2コース40人の入学生でスタートした。14(2002)年には(公財)日本臨床心理士資格認定協会から臨床心理士第



会議室
赤外線会議システムを完備する。



院生合同研究室
パーティションで個別スペースを確保し、パソコンやプリンターを配備。



講義室
全6室を設置。加東キャンパスとを結ぶ遠隔授業システムを備える。



演習室
ゼミなどの少人数指導用に全10室を設置。



コンピュータ室
パソコン17台のほか、電子黒板やデジタル教科書などがそろう。ICT機器の活用方法を学べる。



◀オープンを祝して加治佐学長らがテープカット

うれしの掲示板

教材文化資料館平成25年度前期展 「おんがくー唱歌教育の流れー」

明治初期から昭和初期にかけての唱歌教育にスポットを当てます。わが国初の官製教科書「小学唱歌集初編」や「尋常小学唱歌」（復刻本も含む）をはじめ、昭和初期の蓄音機や鑑賞授業用のSPレコード、野口雨情、北原白秋の自筆の書簡などを展示。有名曲の音源の試聴や足踏みオルガンの体験コーナーもあります。



開催期間／8月29日⑩まで

場所／教材文化資料館(附属図書館内)

開館時間／8:30～22:00、土曜9:00～17:00、日曜・祝休日13:00～17:00

※授業休業期は異なります。また、開館時間の変更や臨時休館する場合があるので、附属図書館のホームページなどで確認してください

⑩兵庫教育大学教材文化資料館 ☎0795-44-2362

科研費獲得に功績を挙げた 吉岡秀文教授と首藤明和准教授を表彰

兵教大の発展に多大なる貢献をした者として、吉岡秀文教授(写真右)と首藤明和准教授(左)を表彰しました。

◎被表彰者

▶ 科学研究費補助金獲得における多大な功績／吉岡秀文教授(認識形成系教育コース[自然系教育分野])、首藤明和准教授(認識形成系教育コース[社会系教育分野])



藤原忠雄教授が 日本学校メンタルヘルス学会でダブル受賞

藤原忠雄教授(学校心理・発達健康教育コース)の論文「中学校教師におけるストレス反応及びバーンアウトに関連する諸要因ーストレス、コーピング特性、ソーシャルサポート及び自己効力感ー」が、日本学校メンタルヘルス学会の理事長賞と中島一憲記念賞を受賞しました。理事長賞は昨年の学会誌に掲載された論文の中から最も優れたもの、中島一憲記念賞は教師のメンタルヘルスに関する優れた論文に贈られるものです。



一種大学院(現臨床心理学コース)の指定を受け、臨床心理相談室を開設した。19(2007)年、現在の神戸情報文化ビルに移転。現在、全大学院生の4分の1に当たる10コース約170人が学んでいる。

ここ数年、教員養成の修士レベル化や大学院での研修機会の拡充が喫緊の課題に挙げられているが、兵教大大学院はカリキュラムの充実度に加え、今回の神戸ハーバーランドキャンパスのオープンによってハード面でも、それらの要請に十分に応えられる態勢が整った。



図書室

教育関係の書籍や雑誌、各コースに関する専門書などを中心に約5,000冊を所蔵する。加東キャンパスの附属図書館から本を取り寄せ、借りることも可能。



兵教ホール

シアター形式では最大100人を収容。赤外線会議システムとプレゼンテーションシステムを備える。

神戸ハーバーランド キャンパス

神戸市中央区東川崎町1-5-7

神戸情報文化ビル3階

☎同キャンパス事務室

☎078-361-5023

アクセス▶JR「神戸」駅・市営地下鉄「ハーバーランド」駅から徒歩約8分、神戸高速鉄道(阪急、阪神、山陽乗り入れ)「高速神戸」駅から徒歩約13分

利用できる時間▶9:00～22:00、土曜・日曜・祝休日9:00～18:00





かつ み けん じ
勝見健史

小学校教員養成特別コース教授

小学校高学年では、一部教科担任制が行われています。その目的と注意すべき点は何でしょうか。

小 学校高学年に教科担任制が導入された背景として、第一に、子どもの発達段階を踏まえた教育の改善があります。子どもの発達に関する知見では、4年生前後を発達の区切りとして見るものが多く、高学年の従来への指導に工夫・改善を加える必要があるのではないかと考えています。第二に、学校間の連携や接続の改善です。いわゆる「中1ギャップ」といわれる生徒指導面での表れや、学習理解面の小中の落差は、学習方法や円滑に新しい環境へ移行できていないことが要因の一つではないかという考え方です。

一方、教科担任制によって、各教員の得意分野がスペシャリストとしての専門性として生かされますが、小学校教員

のジェネラリスト(子どもと生活を共にしながら丸ごと成長を捉え支援していく)としての特徴的な専門性がないがしろにならないかという点を留意しなければなりません。小学校教育の良さを生かしながら教科担任制を実施するには、年度当初の一定期間は学級担任制でスタートし、その後、教科担任制へ段階的に移行するなどの工夫が必要です。

兵庫県では、小学校高学年で「教科担任制」と「少人数学習集団の編成」を組み合わせ

た「兵庫型教科担任制」を実施しています。そこでは、教員の組織的・協力的な指導体制の促進、子どもの学習意欲の向上や学習理解の深化などについて、実施期間が長い学校ほど効果があると報告されています。教科担任制は、各学校が規模や実情に応じて、子どもたちの育ちに機能するシステムとして絶えず更新・改善し続けることが大切です。また、中学校側の授業改善や1年生の受け入れ体制の工夫と連動することも重要でしょう。



キャンパストピックス

CAMPUS TOPICS

新年度を迎え
3つの新組織が発足

4月1日、加東キャンパスに「教育実習総合センター」「国際交流センター」「ボランティアアステーション」を開設した。

教育実習総合センターは教職大学院の学生への修学支援と、本学を代表校とする6大学が連携・協働して教員養成高度化システムモデルを構築する取り組みの中で必要とされる大学院レベルの実習を効果的に運営する役割を担っている。

総合研究棟1階に開設した国際交流センターは、本学の国際交流の中心的な役割を担う。国際社会に開かれた大学として、留学生や外国人研究者の積極的な受け入れ、学生の海外派遣など、国際交流活動の推進に取り組む。

学生会館3階にオープンしたボランティアアステーションは、教職キャリア開発センターのボランティア活動支援部門という位置付け。スクールサポーター等の学校支援、昨年度まで「NANAつくす活動室」が取り組んでいた不登校児童生徒支援、東北の被災地の復興支援、生涯学習(社会教育)支援など、学生ボランティアに関する情報発信、相談・指導を行っていく。



◀国際交流センターの教員と留学生



▶教職大学院の学生への修学支援を行う教育実習総合センター



▶ボランティアアステーションの開所式



兵庫教育大学の FD活動

本学のビジョンはその2番目に、「質の高い教育内容と充実した学習環境を提供して、学生一人ひとりがその可能性を最大限に伸ばし、高い達成感と満足感を得られる大学となります」と明記しています。学生各自に最大限の可能性伸長と高い達成感、満足感を得させるために、学習環境の充実とともに教育内容の質を高めることを大学づくりの方向性として宣言しているわけです。教育内容の質を高めるためには、大学教員の授業力向上が欠かせません。授業力向上には、教員それぞれが改善努力を不断に行うことが基本ですが、各教員の改善努力を促し、支援するためにも、大学としての組織的な研修、つまりファカルティ・デベロップメント(FD)が必要です。

本学はこれまでに学部、修士課程のすべての授業科目(実習科目を除く)について学生による授業評価を実施し、ホームページで公表しています。教員相互の授業参観も行っています。教職大学院のFDでは、学生による授業評価と授業公開にとどまらず、学生への評価結果と改善策の説明、それを受けての学生からの意見聴取、実習校による実習評価、外部者を含めた公開研究授業、外部評価委員会による第三者評価など、多様な活動が計画的に行われており、他大学と比較してもかなり進んだ取組といえます。

こうしたFD活動のねらいは、改めていうまでもなく、個々の教員の授業力向上による大学全体の教育力の向上です。教員個々の力を上げ、全体の力を上げるためには、教員集団の協働性と同僚性を高めることが必要です。学生の成長と満足度を高めることを最優先の価値観として共有し、教員個人やコース・分野の独善性を排し、各人の個性や創意工夫を尊重して謙虚に学び合い、支援し合うことによって、教育活動の改善と課題解決に努めるような文化を醸成することです。

上記のビジョン実現のために、これまでは学習環境の整備を重点事項にして、構内の美化やラーニングコモンスの設置などに取り組んできました。それはとりあえず一段落しましたので、今年度からは「FD活動の活性化」を重点事項としました。学生と教員の双方向型の授業(アクティブ・ラーニング)の一層の推進、学生とともにいき、学生の省察や成長も促すようなFD活動、より確実に授業評価結果が次の改善につながる評価システムの開発、教員養成スタンダードの更なる実質化など、これまでとは一線を画す取組を試みたいと考えています。こうした取組が進めば、教員間の協働性・同僚性は自ずと向上することでしょう。

かじさてつや
学長 加治佐哲也

兵庫教育大学 からの お知らせ



平成26年度 大学院学校教育研究科学生募集

26(2014)年度の入学生を8月選抜、11月選抜、3月選抜の3回に分けて募集します。

修士課程 ▶ 200人

◆人間発達教育専攻		クラス	8月選抜	11月選抜	3月選抜
教育コミュニケーションコース	昼間		7人	3人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
幼年教育コース	昼間		7人	3人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
学校心理・発達健康教育コース	昼間		10人	5人	若干人
	夜間		若干人	5人	若干人
臨床心理学コース	昼間		20人	10人	若干人
	夜間		—	10人	若干人
◆特別支援教育専攻					
障害科学コース			15人	5人	若干人
特別支援教育コーディネーターコース			8人	2人	若干人
◆教育内容・方法開発専攻					
認識形成系 教育コース	社会系教育分野	昼間	12人	5人	若干人
		夜間	若干人	若干人	若干人
	自然系教育分野(数学、理科)	昼間	12人	6人	若干人
		夜間	若干人	若干人	若干人
文化表現系 教育コース	言語系教育分野(国語、英語)	昼間	14人	6人	若干人
		夜間	若干人	若干人	若干人
	芸術系教育分野(音楽、美術)	昼間	10人	5人	若干人
		夜間	若干人	若干人	若干人
行動開発系教育コース	昼間	14人	6人	若干人	
	スポーツ健康系教育分野(保健体育) 応用生活系教育分野(技術・家庭、工業、情報)	夜間	若干人	若干人	若干人

専門職学位課程(教職大学院) ▶ 100人

◆教育実践高度化専攻		クラス	8月選抜	11月選抜	3月選抜
学校経営コース	昼間		14人	6人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
授業実践開発コース	昼間		20人	10人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
生徒指導実践開発コース	昼間		14人	6人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
小学校教員養成特別コース			20人	10人	若干人

8月選抜

- ◎出願期間 7月11日⑥～19日⑥(必着)
- ◎試験日 8月17日④(筆記・口述)
- ◎合格者の発表 9月6日④10:00

11月選抜

- ◎出願期間 10月10日⑥～18日⑥(必着)
- ◎試験日 11月16日④(筆記・口述)
- ◎合格者の発表 11月29日④10:00

3月選抜

- ◎出願期間 26年2月6日⑥～14日⑥(必着)

- ◎試験日 26年3月1日④(筆記・口述)
- ◎合格者の発表 26年3月14日④10:00
※各選抜とも出願状況によっては上記の試験日の翌日にも試験を行う場合があります
※昼間クラスと夜間クラスのあるコースは昼夜開講制です。昼間クラスは加東キャンパスで、夜間クラスは主に神戸ハーバーランドキャンパス(神戸市中央区)で開講します(昼間、夜間の区別がないコースは全て昼間クラスです)
- ◎入試課 ☎ 0795-44-2067

④=問い合わせ先 ⑥=申し込み先

大学院学校教育研究科 説明会

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)の教育課程や専攻・コースの概要などについて説明します。個別相談や修了生・在学生の体験談を紹介する時間も設けます。

◎開催日 ※いずれも13:30から

加東キャンパス

10月5日④

※午前中に施設見学(希望者のみ)を実施

神戸ハーバーランドキャンパス(神戸市中央区)

7月6日④、9月7日④、28日④、26年1月25日④、2月1日④

梅田センタービル(大阪市北区)

9月21日④、26年1月11日④

AP品川京急第2ビル(東京都港区)

9月14日④

福岡朝日ビル(福岡市博多区)

9月21日④

◎入試課

☎ 0795-44-2067 ☎ 0795-44-2069

☒ office-nyushi-t@hyogo-u.ac.jp



大学院入学相談室

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)への入学希望者を対象に電話、ファクス、メールで相談を受け付けます。

◎開設期間 ※いずれも平日のみ

8月選抜 7月8日⑥まで

11月選抜 9月6日④～30日⑥

3月選抜 26年1月6日⑥～2月3日⑥

◎入試課

☎ 0795-44-2359 ☎ 0795-44-2069

☒ office-nyushi-t@hyogo-u.ac.jp

平成25年度 学校教育学部 オープンキャンパス

受験生や保護者、高校の進路指導担当者などを対象に開催します。

◎日時 7月21日⑥11:00～16:00(受付10:30～)

◎場所 加東キャンパス

◎入試課

☎ 0795-44-2067 ☎ 0795-44-2069

☒ office-nyushi-t@hyogo-u.ac.jp

編集後記

★今号の「教育最前線」では道徳教育を取り上げました。現在の道徳教育は、教訓や規範を教え込むようなものではなく、副読本や話し合いを通して人間理解を深めるような時間になっているようです。「研究レポート」では、これまで科研の採択課題に限られていたのを、学長裁量経費による共同研究に対象を広げました。岸田教授らによる研究は、教職課程で必修化された「教育実践演習」の指針となるのが期待されます。(くす)

★「教育子午線」の編集に今号から参加しました。慣れない校正の荒波にもまれながらも何とか発行にこぎ着けました。今後もオピニオンリーダーとしての役割を自覚しつつ、誌面づくりに取り組めます。(や)

※バックナンバーは兵庫教育大学ホームページをご覧ください。

◎あなたの声を聞かせてください

「教育子午線」では、読者の皆さまの声を生かした誌面づくりをめざしています。はがきかメールでご意見、ご感想を寄せていただいた方には、オリジナルのポストカードまたはボールペンを進呈します。

●あて先:〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
兵庫教育大学総務課総務チーム

☎ 0795-44-2010

☎ 0795-44-2009

☒ office-koho@hyogo-u.ac.jp



June, 2013
vol.32

教育 子午線

第32号 2013年6月発行
発行/国立大学法人
兵庫教育大学 大学広報室
http://www.hyogo-u.ac.jp

編集協力/㈱神戸新聞総合印刷

兵庫教育大学
携帯サイト
入試情報は
携帯でもチェック
できます。

